プロジェクト代表者	谷口高平（トランスレーショナルリサーチ部門・副部門長/一般・消化器外科学・助教）
共同研究課題名	バイオインフォマティクスを駆使した難治性がん病態解明による診断バイオマーカーと創薬開発
目的	本学における臨床検体の研究利用と、先端の情報科学（バイオインフォマティクスによるシステム生物学）を融合させ、がんの病態を詳細かつ広範に解析し、難治性がんの克服を目指す。臨床に則したデータの産出と膨大かつ多様なデータの有効活用を介して、革新的な標的分子、病態機構を同定する。対象疾患を膵がん・薬剤耐性乳がん・スキルス胃がんを中心に選定し、研究成果を患者に還元することを目指す。
内容	申請者の研究室では主に臨床検体を用いた解析と、細胞株・動物モデルを用いた分子生物学的実験を行う。次世代シークエンサーを用いた実験も積極的に行う。名古屋大学では、シークエンスデータの解析を担当する。更に公開されている様々なデータバンクから、有用なサイトを選定し、多様な視点から解析を加える。主に細胞株・ヒトサンプルにおける遺伝子発現の公開データベースを中心に解析を進める。また名古屋大学で出た解析結果を元に、申請者研究室で基礎実験を計画実行する。
学内共同研究者	内山和久（一般・消化器外科学・教授）
	小村和正（トランスレーショナルリサーチ部門・副部門長/泌尿器科学・講師）
	島　卓史（一般・消化器外科学・大学院生）
	前沢　早紀（一般・消化器外科学・大学院生）
学外共同研究者	松井佑介（名古屋大学・准教授）
研究費	1,000,000 円